

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 3月14日

団体名 こども☆横丁プロジェクト代表者 三矢 勝司構成員 9人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎市の市民自治、地域協働によるまちづくり実現に向けて、次世代を担う青少年を育成すること。また、事業(なごみん横丁他)を通じて、おとなの意識改革、地域の活性化に寄与すること。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5月11、12日	岩津北公園	岩津地区界限 の住民他	34名	防災キャンプの開催。
9月28日	岩津北公園	岩津地区界限 の住民他	20名	(市の許可を得て)園内遊具のペン キ塗り直しを実施。
11月30日	岩津北公園	岩津地区界限 の住民他	約200名	クリスマスマーケットの開催。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

防災キャンプでは、近隣住民同士で学び、助け合う関係づくりができた。関係者の中に、能登半島地震の復興支援に出向いたメンバーがおり、そこでの様子や今後求められる対策についても共有できた。当日は児童の参加もあり、次世代を担う青少年の育成にも寄与できた。ペンキ塗り直しでは、使い込まれてペンキが剥げた遊具のメンテナンスを行なった。主に子どもたちがペンキぬりを楽しんでくれた。自分が使う遊具を自分たちで手直す事で公園への愛着、地域への愛着にも貢献できたと思う。クリスマスマーケットでは、大人たちのステージイベントに触発されて、子どもたちの合唱が始まるなど、主体性の育みや地域の賑わい創出にも寄与できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

地域コミュニティ再生、次世代を担う青少年の育成、地域活性化にも寄与できたため。また、いずれの企画も地域からの要望に応じて実施しており、社会ニーズにも合致しているため。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。